



国連開発計画(UNDP)・外務省共催
UNDP・日本 WID 基金 10 周年記念シンポジウム
 「ミレニアム開発目標とジェンダー平等の達成に向けて」

協力： 国際協力機構(JICA)、国際協力銀行(JBIC)



1995 年の第 4 回世界女性会議以降、ジェンダー問題に取り組む途上国を支援するための具体的方策として、日本・UNDP/WID (Women in Development) 基金が UNDP 内に設立されました。以来 10 年間、同基金はあらゆる開発問題にジェンダーの視点をとり入れた、斬新なプロジェクトを実施してきました。本シンポジウムでは、具体的なプロジェクト例に基づき、開発におけるジェンダー主流化の重要性と今後の課題について、日本と UNDP のパートナーシップという観点から検証いたします。

日時：2005 年 11 月 16 日 (水) 10:00-16:30 (受付 9:30 より)

場所：UN ハウス 3 階 ウ・タント国際会議場

渋谷駅または表参道駅より徒歩約 10 分 〒150-8925 東京都渋谷区神宮前 5-53-70

オープニング・セッション

- | | |
|---------------|---|
| 10:00 - 10:15 | 開会の辞
佐藤 重和 (外務省経済協力局長)
西本 昌二 (UNDP 開発政策局長) |
| 10:15 - 10:45 | 来賓ご挨拶
猪口 邦子 (内閣府特命担当大臣 (少子化・男女共同参画))、衆議院議員
小宮山 洋子 (衆議院議員、開発と女性議員連盟事務局長) |
| 10:45 - 11:05 | 基調報告「UNDP・日本 WID 基金 10 年の軌跡」
アスター・ザオーデ (UNDP 開発政策局 上級ジェンダー顧問) |
| 11:05 - 11:35 | 基調講演 「ジェンダー平等をどう実現するか? ミレニアム開発目標達成との関連で」
西川 潤 (早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授) |

セッション 1 : ICT を活用した女性の経済的エンパワーメント

- | | |
|---------------|---|
| 11:45 - 11:50 | スライド上映：UNDP・日本 WID 基金支援による ICT 案件 |
| 11:50 - 12:30 | ビデオ上映：インドにおける ICT を活用したインフォーマル・セクターの女性小規模経営者支援 (ナレーション：報道キャスター 長野智子) / モナ・デーブ (SEWA (自営女性労働者協会) マネージャー) |
| 12:30 - 12:45 | 質疑応答 |
| 12:45 - 14:00 | 昼食 |

セッション 2 : ガバナンスと女性の政治的エンパワーメント

- | | |
|---------------|--|
| 14:00 - 14:05 | スライド上映：UNDP・日本 WID 基金支援によるガバナンス案件 |
| 14:05 - 14:35 | 講演：エリザベス・キャシミレ (ウガンダ共和国ジェンダー、労働および社会開発省 ジェンダー、文化および地域開発局長) |
| 14:35 - 14:55 | 質疑応答 |

パネル・ディスカッション：ミレニアム開発目標の達成に向けて

- | | |
|---------------|--|
| 14:55 - 15:10 | 発表：「UNDP・日本 WID 基金の業績と、日本と国連のジェンダー平等と女性のエンパワーメントの推進に向けた今後の協力について」目黒 依子 (上智大学教授) |
| 15:10 - 16:30 | パネル・ディスカッション「ミレニアム開発目標達成のための日本・UNDP パートナーシップ：UNDP・日本 WID 基金の経験を活かして」
コーディネーター： 目黒 依子 (上智大学教授)
パネリスト： 西本 昌二 (UNDP 開発政策局長)
小野 日子 (外務省経済協力局開発計画課企画官)
水上 正史 (国際協力機構 (JICA) 企画・調整部長)
橋本 和司 (国際協力銀行 (JBIC) 開発セクター部長)
エリザベス・キャシミレ (ウガンダ共和国ジェンダー、労働および社会開発省 ジェンダー、文化および地域開発局長) |

----- (登録用紙 11月15日(火)までにお申し込み下さい) -----

宛先: UNDP・日本 WID 基金 10周年記念シンポジウム事務局

(お申し込み・お問い合わせ等: TEL:03-5467-4751 FAX:03-5467-4753 Email: fo.jpn@undp.org)

お名前(フリガナ)	
所属/役職	
住所	〒
Tel/Fax/Email	Tel: ()- - /Fax: ()- - /Email:

注:

1. 登録の通知は致しておりません。(お席に限りが生じた場合のみご連絡いたします)
2. 警備上の理由からこの申込書のコピーを受付にてご提示ください。
3. お車でのお越しはご遠慮ください。
4. プログラムは都合上変更になる場合がございます。
5. お申し込みの際にご記入いただきました個人情報は、本シンポジウムの参加者リスト作成の為にのみ使用させていただきます。